

とよた意思決定フォロー になりませんか？

豊田市では、認知症や障がいにより判断能力が不十分であっても、自分らしく安心して暮らし続けられるまちを目指して、日常的な金銭管理支援と意思決定支援を組み合わせた「豊田市地域生活意思決定支援事業」に取り組んでいます。

この取組に「とよた意思決定フォロー※」として活躍してくれる人を募集するため、豊田市が連携協定を締結している一般社団法人日本意思決定支援ネットワーク（SDM-Japan）の協力のもと、導入講座を開催します！

大好きなお団子を
食べたいなあ…

いつも食べたいて
おっしゃっていますよね。
施設の方に、伝えて
みませんか？



※ とよた意思決定フォローとは…

フォローとは「支持者」という意味で、本人の意思決定を応援する人ということを示しています。月に2回程度、認知症や障がいのある本人のもとを訪問して、本人自らの生活をどうしたいかを決めることに対して、色々なお話を聞いたり、考えることに寄り添ったりします。

1. 日時 ① 休日コース 定員20名(先着順)
令和6年10月27日(日)午前10時～午後5時【予定】
② 平日コース 定員20名(先着順)
令和6年11月6日(水)午前10時～午後5時【予定】
③ 平日コース 定員20名(先着順)
令和6年11月8日(金)午前10時～午後5時【予定】

2. 場所 〒471-0877 豊田市錦町1丁目1番地1 豊田市福祉センター
①②③ともに介護予防室

3. 内容 意思決定支援の基礎を学ぶ演習 等

参加費無料
18歳以上なら誰でも参加可

【カリキュラム】

開始時間	テーマ	概要	講師（予定）
10:00	挨拶、オリエンテーション		豊田市
10:15	演習1：決められた体験	ロールプレイを通じて、他人から一方的に決められてしまうことの体験を行い、その感想を共有します。	大瀧英樹氏 （あいあらく代表） 水島俊彦氏 （SDM-Japan副代表）
10:55	休憩		
11:05	講義1：障がいの理解、すべての人がいきやすく、生きていくためには～医学モデルから社会モデルへ～	社会モデルという考えから障がいを理解し、これまでと違った見方から、社会や関係性を捉え直す導入とします。	木本光宣氏 （ユートピア若宮理事長）
12:45	昼休み		
13:45	演習2：あなたについて一緒に考える	研修パートナーをお招きして、研修パートナーと一緒に好きなことや将来の夢などを書き出す作業を通じて、相手の意思や希望を尊重しながら活動することを学びます。	研修パートナー 名川勝氏 （SDM-Japan代表理事） 水島俊彦氏
15:45	休憩		
16:00	演習3：振り返り	これまでの講義や演習の振り返りを行い、学んだことの共有を行います。	名川勝氏 水島俊彦氏
16:45	講義2：とよた意思決定フォロワーや権利擁護に関するボランティア活動について	とよた意思決定フォロワーについて説明するとともに、その他のボランティア活動を合わせて紹介します。	豊田市成年後見支援センター
17:00	終了		

※ 時間及び講師は予定であり、変更の可能性があります。

【お申込み方法】 10月5日から申込みを開始します。先着順です。

(1)Google Forms

10/27



11/6



11/8



(2)FAX

下記の参加申込書を記載の上、FAX:0565-33-2346に送付してください。

【問合せ先】

豊田市よりそい支援課 安藤、福山、内田 TEL:0565-34-6791

とよた意思決定フォロワー導入講座参加申込書	
住所	〒
(ふりがな)氏名	
電話番号	
日にち	参加希望日に☑をお願いします <input type="checkbox"/> ①休日コース(10/27) <input type="checkbox"/> ②平日コース(11/6) <input type="checkbox"/> ③平日コース(11/8)

※ ご記入いただいた個人情報は「とよた意思決定フォロワー」に関する事業に必要な場合に使用させていただきます。